

ジャパンパック

段ボールに波形の切り目を入れ伸縮性を持たせた緩衝材(手前)と、緩衝材をセットした箱



業界初の100%紙製

# 段ボールの緩衝材開発

## 切り目入れ伸縮性実現

機能性段ボール容器製造のジャパンパック(滑川市北野、長田宏泰社長)は、段ボールに波形の切り目を連続的に入れることで伸縮性を持たせた緩衝材を開発した。業界初の100%紙製の緩衝材で、パソコンや家電製品の梱包に使われる発泡スチロールなどに比べて廃棄や保管がしやすく、コストも削減できる。

### ジャパンパック 段ボールの緩衝材開発

#### 切り目入れ伸縮性実現[業界初の100%紙製]

機能性段ボール容器製造のジャパンパック(滑川市北野、長田宏泰社長)は、段ボールに波形の切り目を連続的に入れることで伸縮性を持たせた緩衝材を開発した。業界初の100%紙製の緩衝材で、パソコンや家電製品の梱包に使われる発泡スチロールなどに比べて廃棄や保管がしやすく、コストも削減できる。

日本包装技術協会がこのほど開いた「2006日本パッケージングコンテスト」の電気・機器包装部門で優秀賞に贈られるグッドパッケージング賞を受けた。

緩衝材の商品名は「N-ウェーブ」。梱包する際には、段ボール箱にN-ウェーブをセットし、梱包する品物を上下からサンドイッチ状に挟み込んで保護する。

樹脂やフィルム素材を使わず、箱も含めて梱包を段ボール素材だけで済ませられるため、廃棄する際に分別の手間が省け、リサイクルも容易で環境に優しい。使用前には折りたたむため、発泡スチロールなどに比べ容積は十分の一程度に抑えられ、保管スペースを削減できる。

製造時に金型投資が必要な発泡スチロールの成形品より汎用性があり、単価はほぼ二分の一になる。パソコンや家電製品をはじめ、瓶製品、陶器などで幅広い需要を見込んでいる。

今後は、県工業技術センターで落下試験などを行って緩衝性能などを示すデータも蓄積し、来春から本格的な販売を始める。

ウエーブをセットし、梱包する品物を上下からサンドイッチ状に挟み込んで保護する。樹脂やフィルム素材を使わず、箱も含めて梱包を段ボール素材だけで済ませられるため、廃棄する際に分別の手間が省け、リサイクルも容易で環境に優しい。使用前には折りたたむため、発泡スチロールなどに比べ容積は十分の一程度に抑えられ、保管スペースを削減できる。

### 市場誘導支援を開始

#### 富山第一銀行 株式会社公開のコンサル紹介

富山第一銀行は、公認支援する「市場誘導支援策や内部管理体制の整備会社と中小企業診断士業務」を十五日から開始する。同業務では、株式会社公開のコンサル紹介。同行は既に二月から、株式会社公開を具体的に検討する取引先を重点的に、提供し、取引先の株式公開を診断をはじめ、資本政策の支援、野村証